

事務事業評価シート (評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		道路新設改良事業				②事業番号	5105		
③事業類型		5. 普通建設事業		④開始年度	- 年度	⑤終了予定年度	年度	○ 設定なし	
⑥根拠法令等	○ 法令	○ 条例	○ 規則	○ 要綱	○ 計画等	その他 法令等の名称			
⑦実施手法	直営	○ 全部委託	○ 一部委託	○ 補助・負担	その他				
⑧関連予算科目コード	款	7	項	2	目	5	細目	1	
⑨担当部名	⑩担当課名							会計	一般会計
都市整備部		道路課							

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 道路利用者	① 新設計画延長	m
②	② 改良計画延長	m
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
令和2年は工事発注により、以下の事業を実施した。 改良整備延長 L=84m	① 新設整備延長	m
	② 改良整備延長	m
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
安全性・利便性を向上させる。	① 当該年度整備率(新設)	%
	計算式 新設整備延長/新設計画延長	
	② 当該年度整備率(改良)	%
	計算式 改良整備延長/改良計画延長	
	③	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
生活に密着した生活道路(狭あいな道路)の幅や機能向上等が実現できる。	政策(章)	5 快適で活気にあふれ、環境にやさしいまち
	施策大(節)	2 活気にあふれるとともに快適で美しく、市内・市外がネットワークで緊密に結ばれ、だれもが使いやすいまちをめざします
	施策中	1 道路の整備
	施策小	2 身近な道路の整備

【2】各種指標値、事業費の推移

指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標① 新設計画延長	m	0	0	0	-	-	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標② 改良計画延長	m	41	105	84	-	-	
活動指標① 新設整備延長	m	0	0	0	-	-	
活動指標② 改良整備延長	m	41	105	84	-	-	
活動指標③							
成果指標① 当該年度整備率(新設)	%	0	0	0	-	-	
成果指標② 当該年度整備率(改良)	%	100	100	100	-	-	
成果指標③							
事業費							
投入人員	人	0.25	0.26	0.43	0.43		
正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
事業費	千円	2,027	2,005	3,282	3,282		
人件費(投入人員*単価)	千円	31,149	14,577	29,719	47,387		
直接事業費	千円	33,176	16,582	33,001	50,669		
総事業費	千円	2,250	0	8,688	13,699		
財源内訳	千円	0	0	16,557	1,455		
国庫支出金	千円	0	0	0	0		
府支出金	千円	25,245	7,500	14,800	14,500		
受益者負担金	千円	5,681	9,082	△ 7,044	21,015		
その他特定財源	千円						
一般財源	千円						

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	市内の生活道路を改良することにより、道路利用者の利便性の向上及び安全で快適な機能向上を図るため。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	限られた予算で成果向上を図るため、より効果的な整備手法を検討し、工夫することが必要である。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	-

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価 **A**

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事業サービス内容、質、規模等は市民のニーズや社会環境に合っていますか。 (他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	市民のニーズは高く、現状の事業費規模では、十分に答えられていない。

[2]有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[2]の評価 **B**

②期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	狭い部分が拡幅されるなど、安全で快適に道路が利用されている。
③今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。 (事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	国庫補助金の更なる活用を検討し、成果の向上を目指す。
④庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できませんか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

[3]効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価 **B**

⑤成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。 (業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	従前から引き続き、コスト削減に努めている。
--	----------------	-----------------------

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	
	A	引き続き道路利用者の安全性・快適性の向上を図り、また交付金が活用できるところは積極的に活用し、財源の確保に努める必要がある。	A:現状のまま事業を進めることが適当 B:課題が少しあり事業の一部見直しが必要(事業の進め方に改善が必要) C:課題が多くあり事業の大幅な見直しが必要(事業規模、内容、実施主体の見直しが必要) D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止	(___ 年まで) (___ 年から) (___ 年から)
----------	---	--

<今後の展開方針>

a. 重点化する(集中的なコスト投入) c. 効率化する(コストを下げる)	b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)
--	--

①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—